

(別表)

プロポーザル審査基準

評価軸	審査対象内容	評価基準	配点
業務実施体制及び計画	1 業務実施方針	業務の目的、条件、内容を深く理解しているか。また、業務に対する取り組み意欲が強く感じられるか。	20
	2 業務実績	これまでの業務遂行実績から業務完了までの迅速かつ確実な遂行能力が認められるか。また、過去の業務遂行で大きなトラブルがないなど、信頼に足る実績と認められるか。	
	3 業務実施体制	業務実施体制は適切かつ効果的であり、迅速かつ確実な業務遂行が可能と認められるか。また、協力企業がある場合、当該企業の実施体制も適切と認められるか。	
	4 業務実施担当予定者	宮城県内の宿泊輸送等の事情に精通し、業務に関する専門性を有しているか。また、これまでの業務遂行実績から業務完了までの迅速かつ確実な遂行能力が認められるか。	
	5 工程	実施計画策定から業務完了までの工程の考え方は妥当か。また、作業工程の途上で発生することが予想される課題と対応方針について、これまでの業務遂行実績を踏まえて具体的に述べており、かつ、その内容は適切か。	
各計画に対する提案	6 名簿管理、案内状及び招待状作成計画	事務処理方法及び招待者の管理体制は適切であり、案内状の作成発送等は、適時適切に行われる体制かつ、変更やキャンセルに対して柔軟な対応が可能か。また、個人情報保護対策は妥当か。	10
	7 宿泊計画	必要となる宿泊施設の確保数、確保スケジュールは十分か。また、計画策定にあたり、下記事項に十分配慮されているか。 ・これまでの業務遂行実績を活かした配宿方針及び緊急時の対応 ・宮城県内の宿泊施設の状況を踏まえているか ・参加者の宿泊施設の選定基準（食事、サービス、料金等） ・受付及び案内体制	20
	8 輸送計画	必要となるバスやハイヤー等輸送車両の確保数は十分か。また、計画策定にあたり、下記事項に十分配慮されているか。 ・実際の道路事情を踏まえた運行管理計画及び緊急時の対応 ・宮城県内のバス会社及びタクシー会社の状況を踏まえているか。 ・会場の駐車場、誘導人員、資機材等の配置計画 ・参加者区分に応じた輸送時間の設定	25
	9 弁当計画	必要となる弁当数量の確保は可能か。また、計画策定にあたり、下記事項に十分配慮されているか。 ・県産食材の使用 ・搬入体制（食中毒予防対策を含む） ・搬出体制（ゴミ回収方法を含む） ・容器や包装資材等の環境配慮	10
	10 記念品等配布計画	県産品を使用し、宮城県の特徴を感じられる内容となっているか。また、環境に配慮されているか。	
	11 視察計画	森林・林業への理解を深め、自然、伝統文化、特産物等の宮城県の魅力を満喫できる内容となっているか。また、視察コース別の行程、料金、人数及び募集方法は妥当か。	
		12 料金徴収計画	料金徴収、精算方法及びその体制は妥当か。また、各種料金（キャンセル料や振込手数料等）の取り扱いは適切か。
実行委員会と見積価格の役割	13 実行委員会との役割分担	業務実施及び計画策定における実行委員会（宮城県）との役割分担を具体的に述べているか。また、その考え方は妥当か。	10
	14 各年度の概算経費	見積価格及びその積算根拠は妥当であり、具体的かつ実現可能な方法を明確に述べているか。 これまでの業務遂行実績を踏まえ、経費節減を図るための工夫や配慮がなされており、費用対効果が大きいと認められるか。	
合 計			100